

## 分科会報告 ③-1

1. コーディネーター 渡部 智子

2. テーマ

自分の好きなことを仕事にする

3. 参加者数 10名 (宮城県 1名 山形県 9名 )

4. ディスカッション内容

### ◇はじめに

本分科会では、開始直前に、このテーマから思い浮かべられたキーワードを皆さんにひと言ずついただきました。

「好きなことと趣味の違い」「山形で好きなことをしごとにするには」「充実」「人づくり」「人と人のつながりと結びつき」「就職活動」「自分を尊重する」等々が挙げられました。

高校生、大学生、会社員、育児の傍ら仕事を持つ方、目標に向かって現在修業中の方と多彩な方々です。初めて参加の方が多くにも関わらず、開始早々の自己紹介では簡潔、明確に表現される方々ばかりで大変頼もしいスタートとなりました。

### ◇内容

・皆さんから挙げていただいたキーワードと自己紹介の内容をもとに進行となりました。高校生2名からは、仕事に対する実感がまだ湧かない、という率直な意見と共に学校では既に将来の仕事に沿った選択コースになっていること、自分がやりたいことは何かを模索していることが話されました。また、将来は自立した女性になり職業人として生きていきたい、その為にはしっかりとした目標と計画が必要であるとの意見も出て、参加者一同から思わず感嘆の声が上がりました。

・大学生3名は丁度全員が3年生ということもあり、就活の参考にと期待されての方々が多かったようです。大学でこれまで学んだことを活かし、東北、山形の良さを伝えられる仕事に就きたいという方、また一方では地域に拘らず、まずは地元を出て自分のやりたい仕事をしたいという方、好きな事があるが、それが仕事として成り立つかどうかと考えている方も。好きな仕事かどうかまずは体験すること、仕事の傍らに好きなことをしてみることもできる等と真剣な意見が交わされました。

・既に社会人として仕事をしている方々からは、自身の体験と共に、具体的なお話をお聞きすることができました。思いがけない流れで現在の仕事に就いたが楽しく充実しており、この仕事が好きだと言えると話された方、育児の傍ら取得した資格で現在も仕事を続けている方、また幾つかの仕事を経て自分のやりたい仕事、目標、夢が明確になり、実現の為に現在修業中という方。皆さん、自身の仕事が好きの方々ばかりで大変明るい笑顔が印象的でした。若い世代の方々からも、現実に仕事に就いている先輩達のお話は大いに参考になったとの感想をお聞きすることが出来ました。

### ◇まとめ

今回は初めての高校生の参加でしたが、とても堅実でしっかりとした将来設計を考えていること、素晴らしい意見力にも感動致しました。また、就活を間近に現実味を帯びつつある大学生、既に社会人の方々の力強く現実感あふれる意見と、皆さま其々の年代でご自身のヒントになったのではと感じました。またの機会に是非皆さまのその後をお聞きしたくなりました。本分科会にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。